一本杉通り振興会

石川県七尾市

Association for the Promotion of Ipponsugi Street



49

一本杉通り振興会は、石川県七尾市の中心市街地に位置し、44の商店等で構成された商店街団体である。商店街としての歴史は古く、長く能登地方随一の賑わいを誇った商店街であったが、道路網の整備や大型郊外店の進出などにより、全国の商店街同様、客足が奪われ廃業する店舗が後をたたず賑わいを失いつつあった。そんななか、再び商店街の賑わいを取り戻そうと取り組んだのが「花嫁のれん展」である。

花嫁のれんとは、幕末期より加賀藩直轄地であった加賀、能登、越中地方だけに伝えられてきた婚礼道具の一つである。婚礼時、花嫁は、持参してきた花嫁のれんを婚家の仏間前に掛け、潜ったあと仏壇にお参りする儀式に使われるが、あとは二度と使われることはなく、箪笥の奥にしまわれてきた。

振興会では、地域固有の資源であること、加賀友禅で染められ華燭であること、二枚と同じ絵柄がなく一枚一枚に嫁がせる親の思いと嫁ぐ娘の思いが込められていることなどに着目し、平成16年より「花嫁のれん展」を開催してきた。商店や住家が一つになり、450mの通りをギャラリーとし、訪れる見学者に商店主やおかみが語り部として花嫁のれんに纏わる物語を語る取り組みは好評であり、2014年、11回目の「花嫁のれん展」を開催したが、石川県はもとより、全国から多くの見学者が訪れるイベントに成長した。

このような取り組みにより、一本杉通り商店街の知名度が上がったこともあり、イベント期間だけではなく、一年を通して観光客が訪れるようになった。商店主は、「花嫁のれん展」の語りの経験を活かし、地域の歴史文化や生活文化などを語る「語り部処」の設置や商店に関係する体験処を設置し、観光客に楽しんでもらう取り組みを行っている。

地域固有資源である花嫁のれんを核とした商店街の賑わいづくりの活動は、七尾市によって、平成28年春完成を目指した花嫁のれん常設展示場建設へと動き始めている。





Noren curtains are the long curtains that sometimes hang in the entrances to restaurants and traditional Japanese rooms. In Nanao City, Ishikawa Prefecture, the local tradition of hanayome noren (bride's noren) dates back to the Edo Period, according to which a special noren is made for a bride using the traditional kaga yuzen technique. The noren is hung in the doorway that leads to the butsuma (a small room or vestibule that holds sacred objects) for the bride to walk through, a ritual that symbolizes that the bride is welcomed into her new family. The tradition continues today, and beautiful noren are still made for brides, but they are often stored away without much appreciation outside of the family.

Ipponsugi Street is a commercial district in the city of Nanao that is known for its traditional Japanese products. The Association for the Promotion of Ipponsugi Street organizes an annual exhibition displaying *hanayome noren* in local stores and residences, which has grown into a major event that attracts large crowds. Every year, around Mother's Day, approximately 50 businesses and homes on Ipponsugi-dori Street display nearly 150 *hanayome noren*. The event opens with a traditional bridal procession, and "story telling booths" are set up and staffed with residents that introduce local culture and lifestyles. The town also publishes pamphlets that relate residents' stories about their *hanayome noren*. In 2007, a special exhibition of *hanayome noren* was also held in the city of Nagoya.







新たな発展へのいしずえ

一本杉通り振興会 会長 鳥居正子

年々寂れていく商店街を何とかしたいとの思いから、商店主が一つになって始めた「花嫁のれん展」が10回目を数えるのをきっかけに、駄目だろうという思いで応募したティファニー財団賞でしたが、まさかの伝統文化大賞の受賞は驚きでいっぱいでした。七尾市や石川県の応援をいただき出席したニューヨークでの授賞式で、地域から全国へ、そして世界へと花嫁のれんが歩き出す一歩にしたいと感じました。「伝統文化と現代社会」をテーマとした財団賞がなくなることは残念ですが、最後の授賞団体として、ティファニー財団賞に恥じない活動を今後も続けて欲しいとのメッセージだと思っています。

地域に引継がれてきた伝統文化を守りながら、振興会の活動を続けていくためには、次の世代につなげていくことが大事だと思っています。授賞をきっかけに、若い世代の方々も積極的に活動に参加するようになってきました。新たな発展へのいしずえをつくってくれたのがティファニー財団賞でした。

